



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 P C I ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 天 野 豊 美
(コード番号：3918 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 井 口 直 裕
(TEL. 03-5633-7940)

平成 28 年 9 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 の 進 捗 状 況 な ら び に
通 期 連 結 業 績 見 通 し に 関 す る お 知 ら せ

本日公表の第 3 四半期連結累計実績につきまして、平成 27 年 11 月 11 日に公表いたしました、当社の平成 28 年 9 月 期 通期連結業績予想に対する進捗率ならびに平成 28 年 9 月 期 通期の連結業績見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 9 月 期 第 3 四 半 期 連 結 累 計 実 績 に つ い て [進 捗 状 況]

当第 3 四半期累計期間の実績につきましては、I o T / I o E ソリューション事業の貢献による高収益傾向が継続したことで売上総利益、営業利益及び経常利益が計画を上回って着地したことに加え、実績における法人税等の負担率が予想値を下回り、さらに、下期に織り込んでいた連結子会社の事業拡大に伴うオフィス増床関連費用が第 4 四半期以降にずれ込んだこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益が押し上げられました。

この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の通期連結業績予想値に対する進捗率は、いずれも売上高における進捗率を大幅に超過いたしました。<表 1 >

<表 1 > 通期連結業績予想値に対する進捗率

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
通 期 連 結 業 績 予 想 値	8,450	580	580	360
第 3 四 半 期 連 結 累 計 実 績	6,268	485	496	336
進 捗 率	74.2%	83.7%	85.7%	93.5%
(参考) 平成 27 年 9 月 期 第 3 四 半 期 実 績	74.9%	81.7%	83.4%	81.4%

※平成 27 年 9 月 期 第 3 四 半 期 実 績 は、通 期 実 績 に 対 す る 進 捗 率

2. 平成 28 年 9 月期 通期の連結業績について〔今後の見通し〕

平成 28 年 9 月期通期の連結業績につきましては、第 3 四半期連結累計期間の業績が当初計画を上回る順調な推移を示しており、足元の事業環境等を鑑みると順調に推移するものと想定されます。

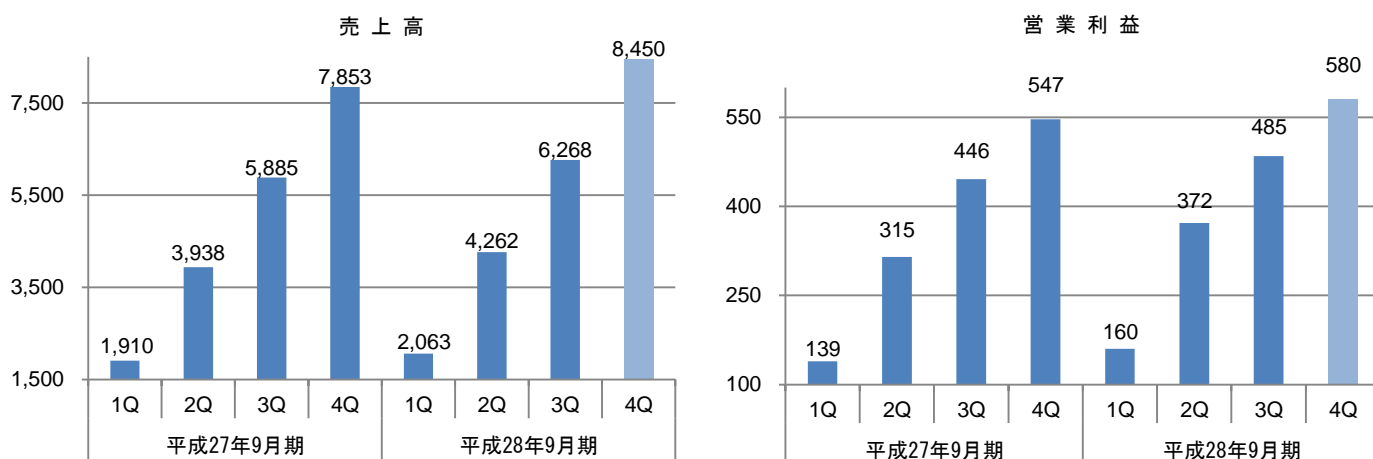
しかしながら、平成 28 年 5 月 10 日に公表しました「平成 28 年 9 月期 第 2 四半期決算短信」に記載いたしましたとおり、売上高においては、「将来的な業績予想については『事業等のリスク』に起因する不確定要素も織り込むべきである」との考えに基づき保守的な見通しを継続し、費用面においては、来期以降に計画しておりました研究開発活動の前倒し投資による収益貢献の早期化を企図することとしたため、通期の連結業績予想値の変更はいたしません。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、連結子会社の事業拡大に伴うオフィス増床に関連する費用などの発生が見込まれること、法人税等の負担率を予想の前提から変更しないこととしたため、平成 27 年 11 月 11 日に公表いたしました通期の連結業績予想値で着地するものと見込んでおります<グラフ 1>。

以上の理由により、平成 28 年 9 月期通期業績予想につきましては、現時点で平成 27 年 11 月 11 日に公表いたしました通期の連結業績から変更はありませんが、今後の動向等を慎重に検討したうえで、修正が必要となった場合には改めて公表いたします。

<グラフ 1> 売上高及び営業利益における四半期累計推移

(単位：百万円)



※平成 27 年 9 月期 1 Q は参考値を、平成 28 年 9 月期 4 Q は予想値をそれぞれ記載しております。

3. 親会社株主に帰属する当期純利益について〔通期の見通し〕

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記 2. に記載のとおり予想値の変更はございませんが、連結子会社の事業拡大に伴うオフィス増床関連費用が今期中に発生せず、かつ、法人税等の負担率が前期通期実績と同等となった場合、予想値を上回る可能性があります。

今後の動向等を慎重に検討したうえで、予想の修正が必要となった場合には、改めて公表いたします。

以上